

矢澤邦彦 さざは くにひこ 教育家。明治十六年十一月二十一日長野縣下伊那郡  
伊賀良村生れ、昭和十九年六月九日歿（六八三—一九五五）。平田篤胤の  
歿後門人矢澤賢陶さやけけんとうの孫。明治二十九年東京高等師範學校専攻科卒。詩  
を土田敏仁、俳句を河東碧梧桐の指導を受け、短歌は新詩社に就く。  
各地の中学校の教職のうち大正十年渡滿。鞍山中學校、次ついでに新京中學校  
校長を創設して昭和十六年歸國。戦後は文部省教科書教材審査委員とな  
り、また児童讀物の著述に従事。

著書に『少年旅行記（アルプスからナポリまで）』（昭和二十一年九月  
十五日太平出版社）、『小さな星の國』（社會教育連合會編、昭和  
二十二年三月五日印刷局「学級文庫・上級用」）、『物語の世界』（昭  
和二十二年四月五日非凡閣「新國語教育選書・物語篇」）、『國語教  
材に現れたる詩の鑑賞』（昭和二十四年一月十五日秀文館）等。

